

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 商業 科目 原価計算

教科： 商業 科目： 原価計算 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 C 組 D 組

使用教科書： （ 原価計算（東京法令出版） ）

- 教科 原価計算 の目標：
- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 原価計算 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	原価の意味、原価要素の分類、目的 原価計算の手続き、計算期間、種類 製造業と簿記、製造業における特有の 勘定 材料費の消費高の計算と記帳	製造業と商品販売業の違い、原価の意味、原 価計算の目的 原価計算の期間の違い、原価計算の方法が違 い 製造業の損益計算書、貸借対照表の他に製造 原価報告書の作成、製造業の特有な勘定の理 解 材料費の分類と計算方法の理解 先入先出法・平均法による計算、予定価格と 実際価格とその差異	【知識・技術】 個別原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について 実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する 技術を身に付けるようにする。  【思考・判断・表現】 個別原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方 法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学 的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	○	○	○	12
	労務費の賃金支払・消費高の計算と 記帳	労務費の分類・支払高・消費高の計 算、予定賃率と実際賃率とその差異	【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な 原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情 報の提供と効果的な活用に主体的かつ協動的に取り組む態 度を養う。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	経費の計算と記帳 個別原価計算	個別原価計算の意義、製造指図書 の意味、原価計算表の作成	【知識・技術】 個別原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について 実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する 技術を身に付けるようにする。  【思考・判断・表現】 個別原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方 法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学 的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	○	○	○	12
	個別原価計算 製造間接費の予定配賦	製造間接費の配賦、配賦法と計算方法の 理解。	【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な 原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情 報の提供と効果的な活用に主体的かつ協動的に取り組む態 度を養う。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学期	原価の部門別計算	部門別計算の意味、原価部門の設定、計 算の手続き、個別原価計算の発展的 内容の理解	【知識・技術】 部門別原価計算、総合原価計算に関する会計処理及び原価情 報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解すると ともに、関連する技術を身に付けるようにする。  【思考・判断・表現】 部門別原価計算、総合原価計算に関する会計処理及び原価情 報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携 わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応す る力を養う。  【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な 原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情 報の提供と効果的な活用に主体的かつ協動的に取り組む態 度を養う。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	総合原価計算	総合原価計算の意味、計算の手続きの理 解	【知識・技術】 部門別原価計算、総合原価計算に関する会計処理及び原価情 報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解すると ともに、関連する技術を身に付けるようにする。  【思考・判断・表現】 部門別原価計算、総合原価計算に関する会計処理及び原価情 報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携 わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応す る力を養う。  【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な 原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情 報の提供と効果的な活用に主体的かつ協動的に取り組む態 度を養う。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1

3 学 期	検定受験対策	模擬試験問題集の模擬問題を中心とした問題演習、1年間学習したことの振り返り	<p>【知識・技術】 部門別原価計算、総合原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 部門別原価計算、総合原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		合計 105